



# 人材育成部報告

大津市障害者自立支援協議会  
2022.5.20 全体報告会

(挨拶)

それでは人材育成部の昨年度の研修の報告と、今年度の予定を報告します。  
大津市障害者自立支援協議会事務局アドバイザーの坂本彩です。

(スライド)

人材育成部会の報告です。

## 2021年度の報告

### <概要>

オンライン研修が定着し、録画配信等も含めてたくさんの方に受講をして頂いた。

一方でグループワークを取り入れた研修等がなかなかできなかった。

また、新たな方法として、事前に講義部分を録画配信し、  
その上で集合研修で「演習」部分のみを行う形も取り入れた。

この場合は、講義部分のみを受講する人には広く見ていただくことができるとともに、集合している時間を短縮出来て、感染予防上も良かった。

(スライド通りよみあげ)

## 取り組めた研修 おおつ合同新人研修

\* 新人研修はできるだけ当事者の方に講師をお願いしている。

タイトル	開催日	講師	参加人数
①対人援助とは	5月7日	松岡啓太、坂本彩	47名
②身体障害のある方への支援	7月2日	中川佑希、染井将仁	42名
③精神障害のある方への支援 就労	8月26日	はたらきくらし応援センター（片井） やすらぎ（佐久間）・wish	32名
④知的障害のある人への支援	9月8日	坂本彩、当事者	41名
⑤当事者の話を聞く	9月21日	めざす会	34名
⑥ふりかえり	10月6日	坂本彩	36名

新人研修には当事者の方に来ていただいたおり、  
「身体障害」「精神障害」「知的障害」の方をお願いした。

## 取り組めた研修 相談支援専門員研修

相談支援初任者研修 インターバル	8月11日	松岡啓太、 坂本彩
相談支援現任研修 インターバル	11月15日	松岡啓太、 坂本彩

相談支援専門員の研修は、一昨年より、インターバルの課題の難易度が上がっている。  
そのため、課題に取り組むためのフォローを行った。

## 取り組めた研修 これからダイアログ

これからダイアログ 福祉の周辺にいる学生に学ぶ	10月26日	坂本彩 大澤健	12名
----------------------------	--------	------------	-----

学生さん向けにアンケートを取ったものをもとに、福祉の周辺にいる学生さんの声を採用活動にどう生かしていくか考えました。

印象に残っているのは、「採用活動はコミュニケーションである」ということ。

コミュニケーションがしっかりとれることで「ここは信頼できる職場か？」を考えていくことの大切さに気が付いた。

# 取り組めた研修 成年後見人との合同研修

ぱあとなあ滋賀・大津ブロックと合同研修

1	動画配信 成年後見人の仕事	動画視聴126名
2	動画配信 相談支援専門員の仕事	動画視聴89名
3	12 / 14 成年後見人と相談支援専門員の合同研修 (事例検討)	集合 27名

研修検討委員会で、相談支援事業所の中堅職員の声を聴き  
「成年後見人の仕事を詳しく知らないので知りたい」との声があり実施した。

成年後見人の仕事は、ぱあとなあ滋賀・大津ブロックの方にご協力をいただいた。

1と2は動画配信でお互いの仕事のことをしり、  
3で集合で事例検討をした。

感想の中には「成年後見人さんの仕事を今まで誤解していた、親代わりと聞いていたので、なんでもお願いしていたけど、そうじゃなかった」というものもあった。

## 取り組めた研修 虐待防止研修

SOSをみつけたすために  
支援者ができることはなにか

2月28日

佛教大学  
田中智子

オンライン  
73名  
動画視聴  
316名

—昨年、京都で、17歳の重度の知的障害の息子さんを、介護疲れで殺害して  
しまった研修をもとに  
SOSを見つけ出すためにできることを考える研修になった。

## 取り組めた研修 共催研修

滋賀県相談支援専門員協会と共催研修

トラウマについての研修	3月6日	NPO法人 レジリエンス 中島幸子氏	オンライン 25名 動画視聴 91名
-------------	------	--------------------------	-----------------------------

滋賀県相談支援専門員協会と共催研修

8月の研修が良かったということで、中島さんに再度講師をお願いした。



## 取り組めた研修 人権研修

\* 性的虐待・性被害支援プロジェクトとして取り組みます。

第 1 回	6 / 1 0	「境界侵犯— 精神分析から学ぶ、関係・権力・倫理」	宇治黄檗病院 精神科医師 国本正善氏	オンライン61名 動画視聴130名
第 2 回	8 / 5	「性暴力がもたらすトラウマの影響」 ～障害のある方が被害にあった場合も含めて～	NPO法人 レジリエンス 中島幸子氏	オンライン36名 動画視聴321名
第 3 回	11 / 22	「セクシャルハラスメントはなぜ起こ る？」	Facilitator's LABO (えふらぼ) 栗本敦子氏	オンライン43名 動画視聴117名

昨年、力を注いだ研修です。  
たくさんの方が受講していただいている。

## 性的虐待研修の感想

他人事としてとらえないために、支援者にも起こり得る、経験したことがあるような事柄を例に出して話してもらえたのが、大変わかりやすく感じた。

そもそも、犯罪被害の統計として挙がってくる件数は氷山の一角でしかないこと、性的虐待件数としても同じことが言えるが、その大前提を知ったうえで当事者の方と向き合うことが大切であると感じた。

コンセント（同意）の「積極的なYES以外は全てNOである」ということを改めて言われてハッとする自分もいた。Noとはっきり言えない方にとって、支援する側が意識しておく必要があると感じた。また、大人の施設であっても大人が大人の膝の上に載る、大人同士で男女が手をつなぐ、といった現場に直面することがある。それらが「性的境界線を学ぶ機会を奪っている」ということに気付けたことも良かった。

障害のある方の支援に携わるものすべてが、研修の内容を理解し共通認識を持つておく必要があると思うが、そうではないのが現実としてあり、支援者同士でもおかしいな、と感じつつ言い出せない空気感。まずは身近なところから「性」の話題をタブー視せず向き合っていきたい。

（スライド読み上げ）  
相談支援専門員の感想。

## 性的虐待研修の報告

- 性的虐待は、なかなか表に出てこないが、見えないところで起こっていることを確認し、気が付くアンテナをもてうようになることを目指した。
- 3回をとおして「自分と相手の境界線」が共通のテーマであり、私たち支援者は容易に対象者が立ち言って欲しくない領域に入っていける環境・力を持っていることを自覚する内容だった。これは性的虐待にかぎらず、人権侵害を犯しやすい立場にあるという自分たちの立ち位置を再認識することにつながった。
- Fラボの栗本さんの研修を受けて、市内の事業所が自法人でも栗本さんを招いて「人権研修」に取り組むことにもつながった。

(スライド読み上げ)


## 取り組めなかったもの

- 中堅職員研修
- JJP研修会
- 救命救急
- 個人情報の保護と支援者の連携のあり方

時間の関係などで取り組めなかった。

JJPの研修は知的障害の当事者の方が参加されるので、オンラインがむづかしく

集合で企画し、3月で会場の準備もしたけれど、コロナ第6波でできなかった。



2021年度は1,685名の参加であった。

2019年度は675名

2020年度は333名

オンラインにより、録画による見逃し配信も活用しながら参加者を増やすことができている。

大津市全体の障害福祉にかかわる人たちの支援の質を上げていくことに寄与できていることを願う。

(スライド読み上げ)

## 2022年度の計画

<概要>

「オンライン研修」+「見逃し録画配信」

を活用しながら、

集合が可能な研修は集合も取り入れていく。

特に演習は、大津市内で働く支援者同士のつながりづくりにも役立っているので、感染予防に注意しながらも取り入れたい。

(スライド読み上げ)

## 予定している研修 おおつ合同新人研修

新人研修①	対人援助とは	5月
新人研修②	大津の障害福祉・就労	5月
新人研修③	身体障害のある方への支援	6月
新人研修④	<b>虐待防止研修 基礎の基礎</b>	7月
新人研修⑤	精神障害のある方への支援	8月
新人研修⑥	知的障害のある人への支援	9月
新人研修⑦	ふりかえり	9月

\*新人研修はできるだけ当事者の方に講師をお願いしている。

虐待防止基礎の基礎  
を一コマ増やしました。

## 予定している研修 虐待防止・人権研修

昨年の性的虐待防止研修の感想文に多かった物を取り入れる

- ①アタッチメントについて
- ②アサーション（積極自己表現）・コミュニケーション

アタッチメント（ふれあい）の環境をどのように幼少期に作ってこれたか、どうだったか。それは成人期にどのような影響を与えるかなど。

アサーションコミュニケーションは、「言いにくいことも、相手を攻撃したり傷つけたりしないようにでも、黙らず、伝えるコミュニケーション」利用者さんも言いにくいことがある、職員もある。そういうことを伝えあうコミュニケーション。

黒人解放運動や女性差別に対する運動の中で獲得されてきたコミュニケーション



## 予定している研修 福祉の魅力発信研修

福祉の魅力発信プロジェクトとして取り組みます。

内容未定：  
障害福祉現場に就職する人を増やすため  
に役立つ研修を考えている。  
できれば研修企画に学生に入ってもらおう。

(スライド読みあげ)